

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 則松 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年6～7月に、2年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走・20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ
※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択するため8種目となる

(2) 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

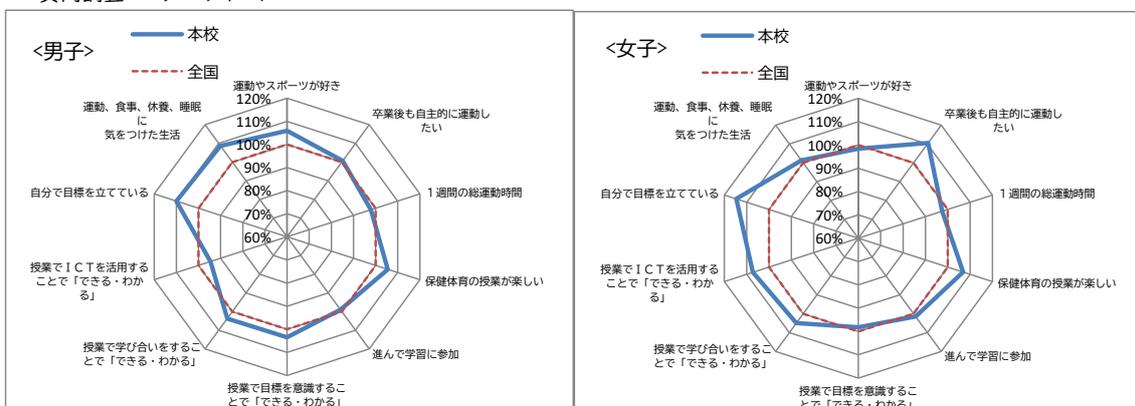
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	28.95	26.09	45.12	51.64	409.25	78.82	8.00	197.51	20.74	42.2
本市	29.68	26.06	46.16	52.78	410.16	81.09	7.88	199.92	20.42	43.36
本校全国平均以上の種目			○			○			○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	23.15	21.70	46.99	45.74	309.66	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58
本市	23.73	21.88	47.43	46.70	309.06	52.42	8.84	170.22	12.10	49.03
本校全国平均以上の種目		○	○	○		○	○		○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査レーダーチャート



質問調査の結果分析

本校の質問調査では、運動が好きと答えた生徒が男女とも6~7割と多く、保健体育の授業を「楽しい」と感じている割合も7~8割に上りました。特に男子は主体的に授業へ取り組む傾向が強く、女子もおおむね前向きな姿勢が見られました。また、体力向上の目標を立てている生徒が約8割と高く、意欲的に取り組む様子がうかがえます。生活習慣では、朝食を毎日食べる生徒の割合が男子で約8割、女子で6割となり、改善の余地も見られました。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 全校での取組
生徒が「できた」「わかった」と実感できる授業づくりを全校で推進し、技能の段階に応じた多様な運動課題の提示やICTを活用した自己評価の充実を図ります。また、学級・学年を越えて協力し合う学習場面を意図的に取り入れ、仲間との関わりが学びを深める授業を目指します。
- 学年での取組
各学年の実態に応じて、基礎体力の向上を図るウォーミングアップメニューやペア・グループ練習の工夫を行います。特に、女子の運動参加が安定しにくい学年においては、達成しやすい技能課題や自己選択できる活動内容を増やし、「自分にもできる」感覚の積み重ねを重視します。
- 学級での取組
学級単位では、授業のふり返りを丁寧にを行い、個々の目標設定と達成確認のサイクルを確立します。また、協力して活動する場面での関わり方を学級で共有し、安心して挑戦できる雰囲気づくりを進めます。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

本校では、平日の運動時間が少ない生徒や女子の運動への苦手意識が課題として見られました。そこで、無理なく継続できる運動習慣づくりを目指し、休み時間の校庭の解放など、生徒が自由に縄跳びやボール運動などの軽い活動に取り組める環境を整え、楽しく身体を動かす機会を増やすことで、日常的な運動量の底上げと運動への親しみを育てていきます。